

レポート課題 (2) 「科学と疑似科学」

課題

- 疑似科学（あるいはニセ科学・トンデモ科学）について調べ、印象に残った1-2の事例について説明せよ。
- そして、「疑似科学にだまされないためにはどうしたらよいか」について考察せよ。

作成要領

- きちんとした本や記事をもとにレポートすること。
- 参考とした文献 (web ページ含む) などがあれば、必ず記すこと。剽窃行為が認められる場合は評価を下げます。(参考文献から引用するのは構いませんが、引用範囲は必ずそう明記すること。)
- インターネット上の文献を引用するときは、書き手が不明な個人のものは避けること。
- A4 用紙 3-5 枚程度。表紙は不要。必要であれば、図や表を添付してよい (ページ枚数に含める)。

提出手順

- Google Classroom の課題として提出。手書きの場合は写真撮影したものを提出
- 提出メ切は、12月28日(日) 22:59。
- 提出ファイルの名前は、「P 学科 XXXXXXXX ○○○○」の形式とすること。(P は Physics の頭文字でレポート区別するためのもの、学科は大日/短生など2文字で、XXXXXXX は学籍番号、○○○○は氏名) とすること。ファイル名には空白を入れず、学籍番号は半角で。一括ダウンロードして読むため、このファイル名をお願いします。
- ファイル内の初めにも、タイトル・学部学科学年・学籍番号・氏名を記載すること。

Remarks

参考資料として、プリントを配布する。

[1] 池内了, 朝日新聞 1993 年 9 月 2 日, 文化欄

[2] 菊池誠, 疑似科学の現在, 雑誌「科学」(岩波書店) 2006 年 9 月号, p902-908

どちらもこの疑似科学をはじめて問題視した新聞記事・雑誌記事である。最近では、書物も雑誌特集もよく目にするようになった。最近の事例を調べて報告することを期待する。